

「電波の日」 四国総合通信局長表彰

個人：3件

(敬称略)

氏 名	功績の概要
小林 和夫 (こばやし かずお)	多年にわたり牟岐漁業無線局局長として漁船の航行の安全及び操業に伴う漁業通信の確保に尽力し、全国漁業無線協会の理事等として漁業無線の振興を図り水産業界の経済的・文化的発展に寄与するとともに、漁業無線の普及発展に多大な貢献をした。
伊藤 章 (いとう あきら)	電波適正利用推進員として電波教室や地域のイベントなどにおいて電波利用に関する相談や周知啓発活動を積極的に行うとともに、香川県電波適正利用推進員協議会の会長として電波の適正利用の推進に多大な貢献をした。
大崎 司 (おおさき つかさ)	電波適正利用推進員として電波教室や地域のイベントなどにおいて電波利用に関する相談や周知啓発活動を積極的に行うとともに、高知県電波適正利用推進員協議会の会長として電波の適正利用の推進に多大な貢献をした。

「情報通信月間」 四国総合通信局長表彰

1 個人 (1件)

(敬称略)

氏 名	功績の概要
大富 仁 (おおとみ ひとし) ハバス合同会社 代表社員	四国情報通信懇談会が実施した小学生を対象としたプログラミング学習会において、多年にわたり学習内容の企画及び講師を担当され、子どもたちがプログラミングを身近に体験できる指導を通じて情報リテラシーの向上、ICT人材育成による地域活性化に多大な貢献をした。

2 団体（3件）

（敬称略）

団体名	功績の概要
愛媛県産業技術研究所 （所長：玉井 浩二（たまい こうじ））	ローカル5Gによる映像伝送や遠隔制御の特徴を体感できる施設「久米窪田5Gラボ」を整備しシステムの活用イメージを広く示すとともに、工場分野におけるローカル5G実証事業において愛媛県内のものづくり産業への実装促進に尽力され、ローカル5Gの利用促進に多大な貢献をした。
久万高原町 （町長：河野 忠康（こうの ただやす））	林業における安全性・生産性向上のため、全国で初めて森林を含む町全域にLPWAによる通信網を整備し、携帯電話圏外でも正確な位置情報を伴った救助要請が可能となる仕組みを構築するなど、ICTの活用による地域課題解決に多大な貢献をした。
四万十町 （町長：中尾 博憲（なかお ひろのり））	ドローンやセンサーを活用したスマート農業の実証や、ドローンの防災・教育等の分野での活用など、ICTの活用による地域活性化や地域課題解決に取り組み、中山間地域におけるデジタル実装の推進に多大な貢献をした。